

平成 31 年 4 月 23 日

大正大学

大正大学外部評価について

本学は、教育・研究・社会貢献等の機能を最大化し、円滑な運営を目指した学内ガバナンス体制を構築するための目標管理のためのシートである「TSR マネジメントシート」に基づき、学部・研究科・事務局の自己点検・評価を、本学独自の区分「3つの経営基盤(法人業務)」及び「5つの社会的責任(学務業務)」で行っています。

「3つの経営基盤」は、「安定した財務基盤の確立」、「優れた人材の確保」、「充実したキャンパス環境の整備」の区分であり、「5つの社会的責任(学務業務)」は、「教育・研究の充実・発展」、「学生生活の充実」、「特色ある社会貢献・地域連携」、「建学の理念に基づく学風の醸成」、「TSR マネジメントに基づく大学運営」の区分です。

加えて、平成 30 年度より大学基準協会の評価基準に基づく「自己点検・評価報告書」を作成しました。「自己点検・評価報告書」は、TSR マネジメントシートによる自己点検・評価結果を一部活用しています。

これらの自己点検・評価活動については、「自己点検・評価統括委員会」の方針に基づき、「大学自己点検・評価委員会」が自己点検・評価活動を行い、「自己点検・評価報告書」を作成しています。

自己点検・評価結果の妥当性と客観性を高めるため、外部評価を実施する機関として、「大正大学外部評価委員会規程」に基づく「外部評価委員会」を平成 29 年度に設置しました。

下記の委員を招聘し、平成 29 年度は、「TSR マネジメントレポート 2016」、「平成 28 年度事業報告書」、「平成 28 年度計算書類」、「大正大学 3 つのポリシー」及び「過去 5 年間入試結果」に基づき、評価を受けました。平成 30 年度は、「自己点検・評価報告書」、「大学基礎データ」及び「根拠資料」に基づき、評価を受けました。

	職名	氏名	担当 (平成 29 年度)	担当 (平成 30 年度)	現職
1	統括役 委員長	西野 芳夫	「優れた人材の確保」 「TSR マネジメントに 基づく大学運営」 「FD、SD」	基準 1 「理念・目的」 基準 2 「内部質保証」 基準 10	関東学院大 学名誉教授

				「大学運営・財務 (1)大学運営」	
2	教育・研究担当委員	川嶋 太津夫	「教育・研究の充実・発展」 「特色ある社会貢献・地域連携」 「教育活動報告(大学・大学院総括)」	基準3 「教育研究組織」 基準4 「教育課程・学習成果」 基準8 「教育研究等環境(研究部分)」	大阪大学高等教育・入試研究開発センター教授・センター長
3	経営・財務担当委員	佐野 慶子	「安定した財務基盤の確立」 「充実したキャンパス環境の整備」	基準10 「大学運営・財務(1)大学運営」 基準10 「大学運営・財務(2)財務」	佐野公認会計士事務所 所長
4	学生募集・広報担当委員	小林 浩	「学生生活の充実」 「特色ある社会貢献・地域連携」 「建学の理念に基づく学風の醸成」 「過去5年間入試状況」 「大正大学3つのポリシー」	基準5 「学生の受け入れ」 基準7 「学生支援」 基準8 「教育研究等環境(教育部分)」 基準9 「社会連携・社会貢献」	リクルート進学総研 所長、リクルート『カレッジマネジメント』編集長

委員の任期は2年間とし、第1期の本学の外部評価が終了したため、ここに外部評価結果による改善事項についてご報告いたします。平成30年度に指摘された事項については、平成31年度に改善を図っていきます。

【改善事項】

- (1) 自己点検・評価報告書、事業報告書、TSR マネジメントレポートについての役割の整理と記載内容の改善、適切な公開を行いました。事業報告書については、「日本公認会計士協会」の記入例に基づき作成の工夫を行いました。また、指標やグラフを充実させました。
- (2) TSR マネジメント(自己点検・評価)に関する規程について、ホームページ上の公開を行いました。
- (3) 各部署からの事業報告については、予算がリンクした報告とするようにフォーマットの改正を行いました。
- (4) 自己点検・評価に関する体制の見直しを行い、「自己点検・評価統括委員会」、「大学自己点検・評価委員会」を設置いたしました。
- (5) ガバナンスに関する規程の見直しを行いました。
- (6) 財務計算書類の作成について適切な作成とすることに見直しを行いました。
- (7) 自己点検・評価報告書の記入方法について助言に基づき、訂正を行いました。

以上